

<報道発表資料>

令和7年6月12日
京都市文化市民局動物園

京都市動物園

ニシゴリラ（ゲンキ）の妊娠

この度、京都市動物園で飼育中のニシゴリラの「ゲンキ」が妊娠しました。

ゲンキにとっては、平成30年12月19日の出産（キンタロウ）に続く3回目の妊娠となり、このまま順調に経過すると、本園のニシゴリラの出産は、キンタロウの誕生以来6年振り6回目となります。

【妊娠したニシゴリラ】

- 名 前 ゲンキ（メス）
- 生年月日 昭和61年6月24日（38歳）
- 出生場所 京都市動物園
- その他
履 歴 昭和61年6月24日 京都市動物園生まれ
昭和62年3月19日 東京都恩賜上野動物園へ移動
平成11年11月29日 京都市動物園に帰還
平成23年12月21日 ゲンタロウ（オス・第1子）出産
平成30年12月19日 キンタロウ（オス・第2子）出産



【父親】

- 名 前 モモタロウ（オス）
- 生年月日 平成12年7月3日（24歳）
- 出生場所 東京都恩賜上野動物園
- 来園日 平成22年10月18日
- その他 ブリーディングローン（繁殖を目的とした賃借契約）により、所有者である千葉市動物公園から借受



【出産時期】

令和7年11月中旬から下旬ごろ

(妊娠期間は※237日～285日)

※EAZA・AZAのガイドラインに基づく

【飼育経過】

令和7年1月24日	ゲンキの発情兆候及び交尾を確認、以後定期的に交尾を確認
4月28日	簡易検査により妊娠反応陽性 糞中ホルモン検査を岐阜大学に依頼
5月10日	岐阜大学の検査で性ホルモンの上昇を確認

【国内飼育状況】

令和7年5月31日現在、国内6施設で19頭（オス10頭、メス9頭）が飼育されている。また、令和4年5月31日の「恩賜上野動物園」（東京都）における誕生に続く、ニシゴリラの国内20回目の出産例となる。なお、今回の出産は第3子となるため、動物貸付（繁殖）契約書に基づき、帰属については協議の上決定する。

(参考) ニシゴリラ (英名: Western Gorilla 学名: *Gorilla gorilla*)

ニシゴリラは西アフリカの熱帯雨林に生息している。繊維質の多いものから果実まで多様な植物の他、シロアリなどの昆虫も食す。雄は成長すると背中が銀白色になりシルバーバックと呼ばれ、数頭の雌とその子どもからなる群れを作る。生息地の環境破壊と密猟により減少し、ワシントン条約付属書I（絶滅の恐れが最も高く、特に厳重に取引が規制されている種）に指定されている希少種で、その繁殖が大きな課題となっている。

【お問合せ】

京都市動物園総務課

電話：075-771-0210

※午前9時から午後5時まで（ただし動物園休園日を除く）



京都市動物園